



同盟中央本部全国理事会



No.385

編集発行人 中西三洋  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都  
文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター・全労連会館  
Eメール chian@plum.plala.or.jp  
電話 03(5842)6461  
FAX 03(5842)6462  
振替 00110 6 97793  
定価 50円

# 「靖国史観」を許さぬたたかいを

小泉劇場、最後の舞台となった、通常国会が幕を閉じました。

国民に「痛み」を強要する医療制度の改悪や国民サーピスを切り捨てる公務員削減法などが強行されましたが、一方目白押しに上程された政治的悪法の「教育基本法改悪」、「国民投票法」、「共謀罪新設」、「防衛省昇格」など、軒並みに継続審議となりました。国民世論と野党の奮闘で自公政権をして、強行成立を断念させたのです。一段と重要となった秋の臨時国会を前に、盛夏の七、八月は政治的に特別の意義をもっています。

終戦記念日を期して性懲りもなく小泉首相と閣僚たちは、戦争賛美の靖国参拝を企図しています。時あたかも地球的規模に日米共同作戦を展開する「米軍再編」と呼応する形の靖国参りであれば、近隣諸国への脅威ははかり知れません。

全国理事会では、全国五千を超えた「九条の会」をはじめ、平和とくらしをまもる国民共同の運動に参加協力している同盟会員の活躍が、生きいきと報告されました。戦争と人権侵害の歴史の、体験と追体験を特性とする同盟です。この夏健康に気をつけながら、「靖国史観」を許さず、「平和憲法史観」を広める運動を展開しましょう。

## 主 な 記 事

6月全国理事会ひらく	2
衆参両院の紹介議員一覧	3
顕彰碑／藤森成吉歌碑	4
時の焦点／核兵器三万二三〇〇発	5
抵抗の群像／豊多摩刑務所で獄死した池田勇作と妻郁の生涯	5
同盟歌壇／碓田のぼる選	6
書棚／『元日本兵が語る、大東亜戦争』の真相	7



通常国会では、医療改悪法案、教育基本法改悪法案、改憲手続き法案、共謀罪法案の

「米軍再編」は、岩国、座間をはじめ全国で、自治体ぐるみのたたかいが広がっています。同盟は、これらのたたかいに積極的に取り組みましょう。  
「横浜事件」再審裁判は、完全無罪と治安維持法犠牲者への謝罪・賠償を求め、支援を強めます。  
今日の情勢は、同盟の役割を浮き彫りにし、治安維持法そのもの

針谷事務局長が方針を提案  
針谷事務局長は、次のような報告をおこないました(要旨)。  
I、当面の情勢と同盟の任務

四法案が審議され、医療改悪法は強行されましたが、他の三法案は継続審議で、秋の臨時国会に持ち越されました。

全国理事は6月23日、東京・全労連会館で開かれ、全国から中央役員、理事七〇名が出席しました。神戸照会長代行が開会あいさつ、中西三洋会長が激励あいさつした後、針谷宏一事務局長が、「5・16国会請願の成功を力に全同盟員が、憲法九条を高くかかげ、たたかいの先頭に立ち、一万六千人会員の早期達成を」めざす運動方針を提案、十六人が発言し活発に討論、方針を満場一致で確認しました。発言の一部を紹介します。

### 憲法九条を高くかかげ、国会請願の成功を力に一万六千人会員の早期達成を

二〇〇六年六月理事会の報告と発言

への関心も高まっています。

#### II、当面の活動方針

1、治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を要求する活動

#### ① 50万国会請願署名

各都道府県が目標を決め、ただちに運動を開始しましょう。「九条の会」は、全国で50000を超え、この運動と結んで、50万署名を達成しましょう。「治安維持法九条の会」の呼びかけを広げる。署名推進のリーフ、「絵手紙はがき」の活用。地元国会議員へ事前の働きかけを強めましょう。

#### ② 地方議会への陳情・請願の強化

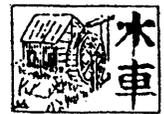
350市町村議会で成果をあげたが、合併で状況が大きく変化しました。実態を調査し、あらためて請願・陳情を強めましょう。

#### ③ 国際交流と国連要請活動

国連の人権委員会が人権理事会になり、年間を通じて審議されるので、対応を研究します。今年韓国、来年は中国を訪問して交流と連帯を強めます。

#### 2、治安維持法犠牲者、先覚者を顕彰する活動

先覚者たちの顕彰活動をすす



戦後いつかかんして反戦を貫いた一人の歌人が亡くなった。近藤芳美、93歳。長く朝日歌壇の選者をつ

とめ、幾多の反戦歌を選歌した。赤旗まつりの選者もつとめた。「終の夜の御手にもつれし髪すけばただまほろしと思ふ戦さは」満田道子、「徴兵は命かけても阻むべし母祖母おみな牢に満るとも」(石井百代)。今は古典とも言えるこれらの歌を選歌したのも近藤芳美だ。小泉首相がイラクからの陸上自衛隊の撤退を指示した。引退の花道かと思いきや、航空自衛隊のバクダツトなど危険地域に活動範囲を拡大して米軍支援を強化するの狙いだ。もうひとつ反戦歌「それほどに戦さがない男らよ子を生んでみよ死ねと言えるか」(中村文子)。子どもを生み育てる女性の戦争を憎む鋭さは古今東西を問わない。与謝野晶子が君死にたまふことなかれを詠った時、これを非難した大町桂月に晶子は「少女と申す者誰も戦争ざらにて候」と反論した。(佐)

✓める。映画「時代を撃て・多喜二」の上映運動。治安維持法犠牲者名簿を作成するため、犠牲者の発掘・調査をすすめます。

3、会員拡大目標一万人の早期達成を

大会後の会員拡大は、6月1日現在508人で、到達は一万4627人。昨年10月から5月まで8カ月連続拡大。大阪、青森はじめ33県本部が増勢し、そのうち16県が二ケタ以上増勢しました。先進に学び、本格的に拡大運動を推進しましょう。

4、全国ブロック会議、全国女性交流集会(11月12・13日熱海市)を成功させましょう。

### 犠牲者への謝罪と賠償こそ 再び戦争国家にしない道

滋賀 西田 清

今年も署名目標は達成できなかった。先日の総会では、戦前の闘いが風化している。戦前のもっと話していかなければいけない。ところが、戦前の話をすると、あなた方は、過去のことばかり言っているとか、黄色い署名は持つ

てくるが後は顔も見ない、と言われる。今の時点でどのように署名の意義を訴えていくのか、なかなか会員の中で議論が起らない。

一方、現代の治安維持法Ⅱ共謀罪新設、内心の自由もない弾圧の体制がつけられ戦争に引っ張り込まれていく。こういう時だからこそ、戦前の治安維持法による犠牲者への謝罪と賠償を求めることが、再び日本を戦争国家にしないために必要なんだ、という訴えが重要と議論になった。

### 署名目標の1割の協力者が 一人十人の署名を集める

山形 島津 昭

今年は、目標は達成できないかと思っただが何とか達成できた。一つは全同盟員が取り組むことが基本。二つ目は、諸団体にお願する。いろんな集会やいろんな機会に署名行動をやる。もうひとつ大事な点は、同盟員を含め署名目標の1割の協力者をつくること。こうすれば、一人が十人の署名を集めれば目標を達成できる。協力者の対象は一杯いる「赤旗」日曜版

読者など十人にお願すれば、数人は協力してくれる。達成したところでは、やっていることです。

今年も国会請願で三十数万の署名を届けたが、結果はどうなったか教えてほしい。

県本部事務局長が倒れた。どう仕事しているか、経験を教えてください。

### 毎月二ケタを拡大、全国女性 交流会の参加者も全員が成果

大阪 塩田一行

毎月二ケタ拡大して、二ケタ減らしている。十二月は、最高時現勢を突破して新年を迎えようと四人を増やした。大会以来二〇三人増やして、退会一七人で八六人の純増。六月二五日の大会までに二四〇〇人をやりきりたい。五月の大阪赤旗まつりでは、親睦と交流、同盟の存在意義を示す絶好のチャンスとして三役は二名、役員は一人の拡大目標で取り組み、会員二十九人と署名一四七六筆を集めた。

3・15、4・16大弾圧記念集会を共産党・民青・同盟の三者で協賛団体も募って、浜林正夫・一橋大学名誉教授を迎えて、「いま、多

喜二から学ぶ」の講演会を開き、二五〇人が参加。会員を二人を拡大。全国女性交流集会に参加の一人全員が拡大で成果をあげた。

### 先輩の戦争反対、平和と人権 を守る闘い知らせる冊子を発行

新潟 北村直吉

会議に間に合うように「風雪の大地に刻む」を発行した。治安維持法犠牲者の名簿作成に取り組み三〇八名をまとめた。この過程で、先輩の戦争に反対する闘い、人権を守る姿勢を正しく県民に伝えようとこの冊子ができた。これは、今の情勢が求めている大事な課題だということがわかった。

冊子には、四〇件が収録されている。支配階級が、侵略戦争を遂行するためにあらゆる暴圧を加える。どんな苦しい中にあっても、戦争を許してはならないという労働者、農民の闘いが粘り強くやられていくことがわかる。

掲載されている香川三兄弟の地元新潟市では、一団体で実行委員会をつくり顕彰の集いを成功させ、会員五人を拡大した。

# 国会請願紹介議員一覽

6月18日現在  
\*印は新

## 衆議院

### 自由民主党

谷畑 孝

### 民主党・無所属クラブ

古川 元久  
近藤 昭一  
寺田 学  
大島 章宏  
\* 山井 和則  
\* 田島 一成  
\* 細野 豪志  
渡辺 周  
\* 菅 直人  
羽田 孜  
西村 智奈美  
\* 筒井 信隆  
北橋 健治  
横光 克彦

\* 原口 一博  
\* 古賀 一成  
\* 大串 博志  
\* 川内 博史  
土肥 隆一

### 日本共産党

藤村 修  
奥村 展三  
\* 北神 圭朗  
\* 岡本 充功  
前田 雄吉  
小宮山 洋子  
末松 義規

赤嶺 政賢  
塩川 鉄也  
石井 郁子  
吉井 英勝  
\* 菅野 哲雄  
\* 阿部 知子

### 自由民主党

田村 公平

### 民主党・緑風会

小林 元  
郡司 彰  
足立 信也  
辻 泰弘  
江田 五月  
大塚 耕平  
山下 八洲夫  
高橋 千秋  
小川 敏夫  
\* 蓮 坊  
和田 ひろ子  
\* 佐藤 雄平  
岡崎 三子  
\* 北澤 俊美  
峰崎 直樹

## 参議院

浅尾慶一郎

\* 若林 秀樹  
前田 武志  
大石 正光

\* 喜納 昌吉  
\* 下田 敦子  
\* 羽田雄一郎

\* 佐藤 泰介  
\* 水岡 俊一  
\* 円 より子

\* 林 久美子  
\* 藤本 祐司  
\* 櫻井 充

\* 千葉 景子  
\* 山本 孝史  
\* 鈴木 寛

小系 慶子  
鈴木 陽悦

### 公明党

\* 風間 殖

### 日本共産党

緒方 靖夫  
小林美恵子  
紙 智子  
吉川 春子  
井上 哲士  
仁比 聡平

大門実紀史

市田 忠義  
小池 晃

### 社会民主党・護憲連合

\* 近藤 正道  
\* 田 英夫  
\* 又市 征治  
福島みずほ

### 無所属



衆議院議員 計五九名  
参議院議員 計四九名  
合計 一〇八名  
(うち新紹介議員四三名)

一九九四年	三八名
一九九五年	六二名(+24)
一九九六年	六九名(+7)
一九九七年	七四名(+5)
一九九八年	八九名(+15)
一九九九年	一四四名(+26)
二〇〇〇年	一四〇名(+25)
二〇〇一年	一五一名(+11)
二〇〇二年	一六〇名(+9)
二〇〇三年	一七四名(+14)
二〇〇四年	一四五名(+16)
二〇〇五年	一四二名(+16)
二〇〇六年	一三八名(+21)

最近10年間の国賠署名数推移  
(個人・団体・計)

1997年	288,227
1998年	316,000
1999年	300,000
2000年	338,000
2001年	270,000
2002年	316,000
2003年	325,000
2004年	342,090
2005年	320,744
2006年	312,777

顕彰碑  
核動

プロレタリア作家・人民運動に献身

藤森成吉歌碑



歌碑は、七年後の八四年六月諏訪湖畔百景園に建立され、碑面には、藤森の、山川のたぎつ瀬見れば飽くことを知らざるこころ山の子のわれが刻まれている。(東京・藤田廣登)

「藤森氏や労農党の演説を聞いて下さいましたか」。一九二八年二月、労農党本部につめて普選闘争を始めた伊藤千代子が、郷里諏訪の統一候補・藤森成吉への支持を祖父母に呼びかけた手紙の一節である。藤森は、地元の青年や三木清ら中央著名人の応援をうけ善戦、地元諏訪では当選ラインにいたが惜しくも敗れた。この時、京都では山宣が当選した。藤森成吉は、上諏訪町の葉種間屋大坂屋に生まれ、諏訪中学、一

高を経て東大へ進学。旧制六高時代の教え子に郭沫若がいる。のち『波』、『何が彼女をさつせせたか』『狼へ』、戯曲『磔茂左衛門』などを次々に発表、プロレタリア作家の道に進んだ。二九年プロレタリア作家同盟委員長、三二年治安維持法違反で検挙された。戦前、細井和喜蔵『女工哀史』の印税で東京青山に「無名戦士の墓」を建立。戦後七二年には国民救済会会長に就任、人民解放運動に献身して七七年、八四歳で没。

夏の訪れは、戦後日本では原水爆禁止運動の季節の到来。一九四五年八月六日、九日の被爆直後から、現地広島・長崎の被爆者自身による受難の実相を知らせる運動が、はじまりました。破壊力の巨大化と、家庭の台所まで恐怖におとしいれたヒキニ水爆事件を契機に、東京・杉並から国民的運動として燎原の火のように全国に広がりました。

核兵器の拡大と相まって、キューバ危機やベトナム戦争、湾岸戦争など現実に核兵器が使われる危機に直面して、今日原水爆禁止運動は五つの大陸にわたって、人類の死活にかかわる緊急の課題として展開されています。ホットなニュースとして、六月十二日、ストックホルム国際平和研究所が二〇〇六年版『平和年鑑』を刊行しました。世界でもっとも権威のある軍事情勢報告書。

「核兵器の現状は、米国、ロシア、フランス、英国、中国の五カ国で三万二千三百発。インド、パキスタ

時の焦点

核兵器 3万2300発

ン、イスラエルの三カ国も核兵器を増産し、長距離ミサイルなど運搬手段の開発を進めている」

長距離ミサイルといえば、いま関心を集めている北朝鮮のテポドン二号。機能上核弾頭は搭載できないといわれますが、日米両国政府は発射準備完了と危機感を煽り、世界的規模での日米共同作戦展開の「米軍再編」、その中で東京・横田基地を日米共同センターとする「ミサイル防衛計画」の実戦配備を正当化しようとしています。テポドン二号と米軍再編。いまアジアで戦争への脅威を極度に強めています。さらに衝撃的なニュースはアメリカの雑誌「ニューヨーカー」(四月十七日号)の情報。イラン政府の原子力平和利用開発政策に対し、核兵器保有をめざすものとして、ブッシュ政権が核兵器を使って攻撃破壊するという秘密計画の告発です。

当面の諸課題の平和的解決と、一日も早い核兵器廃絶実現のために原水爆禁止世界大会の大きな成功が期待されます。(元)

## 抵抗の群像



# 豊多摩刑務所で獄死した

## 池田勇作と妻郁の生涯

山形県鶴岡市 池田正道

伊藤は側にある鉛筆を取ると看守が見飽きてなげ出した「警察協会雑誌」の裏表紙に「ゴチックで、恨みの日三月一五日同志小林多喜二の労農葬を守れ！ 憎む可き白テロにデモで逆襲せよ！ などとスローガンを書きなぐると一寸鉛筆を置いて、三月十五日午後三時一斉に黙祷せよ！」と書きたした。

看守は目を大きく見張つて、その一字々々を見つめてみた

池田勇作が中心的に活動した日本プロレタリア作家同盟「ナルプ」山形支部準備会機関紙「庄内の旗」第三号（一九三三年六月に発行。創刊号、二号は押収され蔭も形もない。最終号となつてしまった）この号は奇跡的に或る寺院の須弥壇

から発見された）に自らの四度目の逮捕（一九三三年三月十五日）を題材に報告文学として発表した「黙祷」の一節を紹介しました。鶴岡に四〇余名の文化クラブ

池田勇作は一九三一年から、東京に活動の場を移す一九三四年の終わりまでの間、山形県庄内地方のプロレタリア文化運動の中心的活動家として作家同盟、演劇同盟等の運動を積極的に展開しています。山形県史第五巻「県内のプロレタリア文化運動」の項には彼の活動に関し、鶴岡で一九三二年一月に鶴岡文化クラブを四〇余名で結成し、読書会や座談会・演劇公演・機関紙発行など活発な運動を展開していた、というふうに記載されています。

特高の執拗かつ陰湿な付け廻しと度重なる逮捕で活動の場だけでなく生活の糧さえ危うくなった彼は上京し、活動の場を東京に移し社会運動通信社、ハウスオルガン（広報誌）、機械工の友社等の記者、日本技術協会書記と職を変え、さらに日本ダイカスト、東京自動車、三菱重工業社などの工場労働者も経験していると思われま

この間、一九四〇年六月二十五日に妻の阿部郁と共に逮捕されるまでの活動は、一九三八年頃は伊藤律の指導する「第二指導部」で麻生正子、新井静子らと、また、一九四〇年頃は岡部隆司や長谷川浩の下で阿部郁（鶴岡に隣接する余目町 現庄内町 出身、一九三六年日本女子大卒、紀伊国屋勤務の才媛で勇作と結婚していた）らと共にいくつかの職場組織への啓蒙活動を担い、更に野本正治などとも連携して、共産党再建に取り組んでいた、と「思想月報」等権力側資料に記載されています。

県内唯一の獄死者として

池田勇作、妻郁など一連の逮捕

は伊藤律の特高への屈服で売り渡されたと言われています。池田勇作は長期拘留の後結核で衰弱した体で一九四三年の秋下獄し、一九四四年三月十三日豊多摩刑務所で獄死しました。遺骨を抱いて古里の庄内に戻った郁もまた結核により一九四五年八月九日失意の内に亡くなっています。池田勇作は山形県の治安維持法犠牲者で唯一の獄死者です。彼は、最近解つたことですが、『中央公論』や日本プロレタリア文学集にも作品を発表する活動もしていました。

情報をお寄せください

私たちは没後62年、遅きに失した感がありますが、しかしこの大切な時期だからこそ、池田勇作と妻郁の生涯を何としても解き明かし、文芸作品と共に甦らせたいと願っています。とりわけ上京後の勇作、そして郁の生活や活動には解らない事が一杯ですので、この機会に他から聞いた話も含めて、いろんな情報をお寄せいただくことを心から期待しています。

同盟歌壇

碓田のぼる選

初七日の法要終えし住職は茶も飲まず九条の意義を語りぬ

岐阜県 和田 昌三

〔評〕檀家の法要のあとに、待ち切れなかつたように僧は憲法九条のことを語つたといふのである。仏教の本旨も九条の精神と通ずるとの確信に立つた僧の姿である。

運動は要めの人の逝きしあとも継ぐ人ありて何ごともなく

東京都 若林 義文

〔評〕やや抽象的、概念的な作品だが、作者の歌いたい所は明らか。運動には、中心の人もリーダーも必要だが、結局のところは、継いでいく人々があつてこそ発展すると。

増上寺朝の勤行鉦・木魚・太鼓・読経とオーケストラの如し

新潟県 加茂川ハル子

〔評〕夫を失なつた友人と寺巡りの旅をしたといふ。朝の勤行が「オーケストラ」のようだと聞いた所に、この歌も平凡な寺巡りの歌から救つている。

三十一万の一人ひとりに頼みしか国賠署名持ちて届けぬ

静岡県 江川 佐一

〔評〕国賠署名の国会提出行動に参加したときの作品であろう。三十一万という数に作者は、それだけの人と対話して署名をよせてもらった運動に感動をしている。

「海ゆかば」「天皇歌」など和歌六首掲げられたる遊就館劈頭

東京都 山崎 元

〔評〕靖国神社の遊就館は、侵略戦争美化の、いわゆる靖国史観の宣伝センターである。そこに入った途端の異様な雰囲気を作者はとらえようとしている。

書棚

元日本兵が語る

「大東亜戦争」の真相

日本共産党中央委員会出版局 定価四〇〇円

今も南京の光景が

「公園とかテニスコートとか、

ちよつと広い所には死体がうずたかく折り重なつてた。撃たれてたり刺されてたり。後ろ手に縛られた人、縄で何人かまとめてつながれた人、裸の人もあつた」

「民家の土間にべたーつと血のりが残つてて、中をのぞくと、殺されてました。お年よりの男女やつた。あれは兵隊じゃないやろうね」

「教育やな。中国人は人間とも思つてなかつた。日本は他の国より優れてる。殺してもいいんや。そんな感覚でした。ほんまの戦争を知っている者が、若い人に伝えていかんとどうにもならん。経験者が減つてきているんやから、生き残つてきている者がしつかりせんと。簡単なことやないですけどな」(三上翔)

「この出入証を見てください。

『慰安所』は日本軍と関係なかつたなんて言わせません。その女性たちの存在や軍との関係を歴史から消すような動きは絶対に許せない」(松原勝)

「これまでも戦争体験を話す機会はありませんでしたが、実はまだ一度も話していないことがあるんです。(生体解剖)ええ、家族にも。戦後六十年たつた今も深く心の中に突き刺さつたままです。若い人たちが戦争の真相を知るきっかけになるのであれば、と思つて」(今津茂)

これが証言内容の一部である。この人々は決して特別の人ではなく、家庭に平和に暮らしていればよき父であり兄であつたであろう。時代(戦争)に翻弄され人間として取り返しのつかないことを体験させられてしまつたのである。(倉)

### 8・15街頭宣伝行動を 成功させましょう!

毎年「終戦記念日」の八月十五日に、私たち同盟は、全国の統一行動として、「再び戦争と暗黒政治をゆるさない」誓いのアピールを掲げたチラシを配布し、署名をおねがいするなどの街頭行動をおこなってきました。

ことしは、戦争する国にめざす企てがいつそつすめられ、教育基本法改悪法案、「共謀罪」法案、国民投票法案、防衛庁の省昇格法案等の悪法案が軒なみ継続審議となつている中で迎える8・15です。

中央本部では、配布するチラシの版下をいま作成中で、七月末までには各県本部にお送りします。

ことしは、ぜひすべての県本部が、しかも、なるべく多くの地域でこの行動にとりくもうではありませんか。

国民にとって忘れることのできないこの日、「戦争反対」「憲法9条守れ」などの声を高らかにあげ、一人でも多くの人たちに平和を訴えましょう。



同盟の絵手紙を用意しました。  
三枚一組二〇〇円 是非ご活用を  
申し込みは 同盟本部まで

多喜二・百合子研究会創立55周年記念ツアー

## 小林多喜二・東京の足跡を歩く

主催：多喜二・百合子研究会  
後援：治安維持法犠牲者国家賠償同盟

実施期日：2006年9月9日(土)10日(日)1泊2日

募集人員：25名(申込先着順)

参加費：20,000円(資料代、途中移動バス代、1泊3食込み)

ツアー講師：三浦光則(文芸評論家、多喜二・百合子研究会運営委員)

〈申込み・問い合わせ先〉多喜二・百合子研究会

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-6 新日本出版社気付

〒151-0051 電話03(3423)8402

### 事務局日誌

- 6月1日 全労連会館5周年記念レセプション
- 6月2日 葛飾ピラ弾圧事件第十二次公判
- 6月3日 婦団連幹事会シンポジウム
- 6月5日 日本国際法律家協会幹事会
- 6月14日 亀戸事件実行委員会
- 6月15日 国際人権活動日本委員会 会外務省交渉
- 6月19日 国際人権活動日本委員会 会幹事会
- 6月20日 「不屈」編集会議
- 6月21日 日本国際法律家協会世界社会フォーラム参加準備会
- 6月22日 中央三役会議
- 6月23日 中央常任理事会、中央理事会
- 6月23日 葛飾ピラ弾圧事件第十三次公判

### 〈寄贈図書〉

『深き夢みし』 女たちの抵抗史  
著者 井上とし 三、二〇〇円

●「横浜事件」のすべてがわかる大特集!

## 『治安維持法と現代』 2006年春季号 好評発売中

【主な内容】戦前の言論弾圧事件である「横浜事件」の全体像と再審判決について二人の論者が詳述。横浜事件の国家的犯罪を理解する決定版。憲法改悪に反対する「九条の会」事務局長の小森陽一東大教授の論考ははじめ珠玉の諸論文を掲載。近江谷同盟副会長の秋田県同盟の15年の活動を分析した論文は学習と運動促進に好適。

A 5版156頁・定価1000円、送料210円。各県本部でお求めください。  
企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

